

平成 23 年第 5 回庄原市議会定例会

一般質問通告者
及 び
質問事項

9月20日～9月22日

質問順位

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 . 赤 木 忠 徳 | 2 . 徳 永 泰 臣 |
| 3 . 横 路 政 之 | 4 . 坂 本 義 明 |
| 5 . 林 高 正 | 6 . 谷 口 隆 明 |
| 7 . 小 谷 鶴 義 | 8 . 垣 内 秀 孝 |
| 9 . 宇江田 豊 彦 | 1 0 . 田 中 五 郎 |
| 1 1 . 福 山 権 二 | |

庄 原 市 議 会

平成23年9月定例会 一般質問

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	赤木忠徳	庄原STAYキャンペーンを実施しよう	1
2	徳永泰臣	地域医療問題について	2
		有害鳥獣対策について	3
3	横路政之	事業継続計画（BCP）の策定について	4
		学校図書館における人的・物的整備の推進について	5
		妊婦健康診査及びワクチンの継続について	6
		高齢者への聴覚チェックで認知症予防の充実を	6
4	坂本義明	市内における河川環境の現状と対策について	7
5	林 高正	株式会社庄原市農林振興公社の経営状況について	8
		観光公社設立準備室の今後について	8
		市政懇談会について	8
		光ファイバー網の整備について	8
6	谷口隆明	子育て新システムと保育所問題	9
		木質バイオマス事業の事業継続について	10
		東北震災の「がれき」の処理について	11
		台風災害を教訓に	11
7	小谷鶴義	農業委員選挙後の新体制と今後の抱負について	12
8	垣内秀孝	庄原市地域情報化計画の推進について	13
		行政組織の再編について	14

順位	質問議員	質問項目	ページ
9	宇江田豊彦	教職員の超過勤務縮減に向けて	15
		学校における食育推進のための職員配置状況について	17
10	田中五郎	大島造船所トマト・イチゴ試験栽培施設を活用した農業振興について	18
		地域おこし講演会(7/30)から得たもの	18
		職員力の向上について	18
11	福山権二	庄原市職員の再任用制度について	19
		窓口の改善について	19
		市職員の休憩時間について	19
		国際交流について	20

一般質問

9月20日(火) 赤木忠徳・徳永泰臣・横路政之・坂本義明

9月21日(水) 林高正・谷口隆明・小谷鶴義・垣内秀孝

9月22日(木) 宇江田豊彦・田中五郎・福山権二

順位	1	質問者	赤木 忠徳
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1.庄原STAY キャンペーン を実施しよう	<p>(1)人口を増やすために、どのような施策をしてきたのか。団塊の世代の受け入れ施策と、その成果はどうなのか。一人当たりの地方交付税交付額は40万円余りと思われるが、市民税等市民が一人増えるごとの経済効果を含めて幾らと試算されているのか。近隣市町より本市に住むメリットがあるのか伺う。</p> <p>(2)近隣市町より庄原に住むメリットがなければつくる。例えば、県立広島大学の学生の住民登録。大半の人は転入の届け出をされていないが、住民票を持つと、本市で免許更新ができるなどのメリットをアピールし、不動産業者に協力を求める必要があるのではないかと考えられるが、各課の殻を破り、若い職員のアイデアを取り入れるシステムを構築していただきたい。</p> <p>人口を増やすために即実行できる施策、来年度からすぐに実行できそうな施策は、どのようなものなのか、伺う。</p> <p>(3)人口を増やすためには、臨時的にでも、若い人の雇用の機会をより多く、広げてほしいと思うが、考えを伺う。</p>		市長

順位	2	質問者	徳永 泰臣
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 地域医療問題 について	<p>最近、医療問題が新聞に載らない日はないほど、あちらこちらの地域で医療過疎が問題になっており、その地域の住民の皆さんの心を痛めている。</p> <p>本市も例外ではなく、中核医療機関を中心に医師不足が進行してきている。</p> <p>本市には庄原赤十字病院と西城市民病院があるが、今回は西城市民病院について伺う。</p> <p>(1) 現在、西城市民病院をどのような位置づけで運営し、将来をどのように考えているのか伺う。</p> <p>(2) 現在の医師・看護師不足をどのように認識し、今後どのような取り組みをしようとしているのか伺う。</p> <p>(3) 地域医療を育てるためには、地域住民が利用・活用することが一番大事と考えるが、そのためには、地元住民により一層の協力と理解をより求めていく必要があると思うが、考えを伺う。</p> <p>(4) 西城市民病院4階病棟の活用策をどのように考えているのか伺う。</p>		市長

順位	2	質問者	徳永 泰臣
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2.有害鳥獣対策 について	<p>本市は、過疎化・高齢化が進み、農地や森林の管理が行き届かなくなっている。山に近い農地は、耕作が放棄され荒地となり、山と農地との境目がはっきりせず、イノシシの絶好の隠れ家となっている。イノシシ被害の拡大を防ぐために、農家の皆さんもいろいろと対策をされ、本市としても有害鳥獣対策の予算を増額して被害防止に取り組んでいるが、被害は一向に減っていないように感じる。</p> <p>(1) 昨年度の本県・本市の有害鳥獣による被害状況と被害額はどのようになっているか。また、本年度の国の対策事業に対して、防護柵の申し込みが多くあったと聞くが、具体的にどういう対応をいつごろまでに行うのか伺う。</p> <p>(2) 本市が購入し、貸し出した防護柵の有効な設置方法を指導しているのか伺う。</p> <p>(3) ネット・電気牧柵・箱わな等での対応だけでは、もう限界が来ているのではないか。また、住民意識を高めるための方策を考えるべきではないかと思うが、考えを伺う。</p>		市長

順位	3	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1.事業継続計画 (BCP)の策 定について	<p>東日本大震災を機に、大規模な災害など不測の事態が発生した際に、企業や行政機関が重要事業を継続できるよう事前に計画をたてておく、事業継続計画(BCP)が注目を集めている。本市では、まだこの計画を策定されていないようであるが、地域住民の生命・生活・財産の保護だけでなく、行政サービスの維持といった観点から、BCPを策定すべきであると思うが、市長の考えを伺う。</p>		市長

順位	3	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 学校図書館における人的・物的整備の推進について	<p>(1) 学校図書館は、児童生徒の知的活動を増進し、人間形成や豊かな情操を養う上で極めて重要な役割を担ってきた。さらに、今年度から「言語力の育成」をうたった新しい学習指導要領がスタートし、その役割はこれまで以上に増してきている。児童生徒の読書活動を推進し、言語力の育成を図っていくためには、児童生徒が積極的に活用したくなるような学校図書館を整備する取り組みが求められている。</p> <p>本市の学校司書、司書教諭の配置状況はどうなっているか。全小中学校に司書の配置は必要であると思うが、考えを伺う。</p>		教育長
	<p>(2) 学校図書館図書標準の達成をめざす財源として、平成 19 年度から 23 年度まで 1,000 億円規模の財政措置が行われてきたが、本市において、年次的に整備はされてきたか。また、達成の状況はどうなっているか伺う。</p>		
	<p>(3) 三次市では、小中学校の図書のデータベース化を行っているが、利用状況や蔵書数の把握、新たな本の購入、また、児童が利用する上で、非常に有効な手段であると思う。本市においても、データベース化をするべきだと思うが、考えを伺う。</p>		

順位	3	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 妊婦健康診査 及びワクチン の継続につい て	<p>妊婦健康診査事業及び子宮頸がん、小児肺炎球菌、ヒブの各ワクチン接種事業に対する国からの補助金が平成23年度で終了することになっている。</p> <p>安心して出産できる体制を継続し、また命を守るためにも、本市として事業を継続していくべきだと思うが、考えを伺う。</p>		市長
4. 高齢者への聴 覚チェックで 認知症予防の 充実を	<p>高齢者が尊厳ある生活を維持するためには、コミュニケーションの維持が必要だが、それを妨げるものとして認知症があげられる。認知症を引き起こす要因はさまざまあるだろうが、難聴から社会的参加が難しくなったり、家庭内でも孤立することにより、生きがいを失い、閉じこもりやうつ、認知症へと進展する場合も考えられる。それを防ぐためにも、定期的な検診を地域で行っていくことが有効であると考え。本市でも特定検診に聴力検査を導入してはと思うが、考えを伺う。</p> <p>また、全国では、市の職員が高齢者の集まりに出向いていき、簡易聴覚チェッカーを活用し、聴覚チェックをし、その結果で、耳鼻科の受診を勧奨している自治体もある。本市もこのような取り組みを試みてほしいと思うが、考えを伺う。</p>		市長

順位	4	質問者	坂本 義明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 市内における 河川環境の現 状と対策につ いて	河川環境の変化により、最近、淡水魚等の不漁、特に鮎の不漁を聞くが、その現状、対策について次のとおり伺う。		市長
	(1) 水質汚濁の対策として、どのような対策を行っているのか。下水道整備事業の進捗率はどの程度か。河川の環境調査はどのようにしているのか伺う。		
	(2) 鮎漁の不漁が長く続いていると聞くが、原因として何が考えられるのか。対策はしているのか伺う。		
	(3) ブラックバス・ブルーギル等の外来魚、カワウ等の鳥獣の駆除も考えられるが、具体的な対策はされているのか伺う。		
	(4) 各河川の漁業組合相互の情報交換等もされていると思うが、河川の水環境が今後の大きな課題となると思われる。市民も交えた情報交換の場も必要と思うが、考えを伺う。		

順位	5	質問者	林 高正
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 株式会社庄原市農林振興公社の経営状況について	<p>平成21年9月議会の一般質問でも取り上げているが、その後の経営状況はどうなっているのか、改めて伺う。</p> <p>特に、以下の3点については詳しく伺う。</p> <p>農産物の販売状況について</p> <p>農作業の受託状況について</p> <p>緊急経済対策で雇用した人たちの今後について</p>		市長
2. 観光公社設立準備室の今後について	<p>さとやま博も終わりに近づいているが、運営母体である「観光公社設立準備室」の果たした役割はどうだったのか。その検証を踏まえ、観光公社を設立するめどは立ったのか伺う。</p>		市長
3. 市政懇談会について	<p>昨年も質問したが、今年も広く市民を対象とした懇談会ではなかった。従来の懇談会形式はしないということで理解すればいいのか、考えを伺う。</p>		市長
4. 光ファイバー網の整備について	<p>検討の経過と、今後の見通しについて伺う。</p>		市長

順位	6	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 子育て新システムと保育所問題	<p>(1) 民主党が来年の通常国会に提出する見込みの「子育て新システム」は、市町村の保育の実施義務の消滅と公的責任を後退させるもので、とても容認できない。断固反対すべきだが、市の考えを伺う。</p>		市長
	<p>(2) 新システムのもとでは、施設と保護者の直接契約となり、保育料も施設が徴収ということをめざしている。万が一実施に移された場合、公設公営の保育所でなければ行政の手は全く届かなくなる。私立の保育所との委託関係も消滅する。その意味でも、公営の保育所の存在意義が大きい。準義務的経費である物件費が年々増えている自治体はそれほどない。財政運営のあり方からも、市内の中心たる庄原保育所の民営化は見直すべきではないか。</p>		
	<p>(3) 人口を維持している先進地の例を見ても、働き盛りの若い世代の定住のため、安定した公的職場を自治体が保障することも大切ではないか。指定管理者制度の適切な運用と官製ワーキングプアをつくらないことを求めた総務省通知(平成22年12月28日)や片山善博前総務大臣の見解を真摯^{しんし}に受け止めるべきではないか。</p>		

順位	6	質問者	谷口 隆明	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者
2.木質バイオマス事業の事業継続について	<p>(1) グリーンケミカル(株)が糖化パイロット装置を急いで布野工場に設置した理由を伺う。そもそも本市で事業を行う気持ちがあったのか疑わしいが、市はどのように指導していたのか伺う。</p>			市長
	<p>(2) 関係会社の債務・債権の関係の複雑さ、未処理のままの経理、特許も製品も機械も財産的価値はほとんどない。そんな状況で本当に次回の債権者会議(12月6日)までにグリーンケミカル(株)の事業譲渡が実現できるのか、考えを伺う。</p>			
	<p>(3) グリーンケミカル(株)の施設による木粉製造・販売は、採算的にも技術的にも、事業継続には無理があると考えるのが普通だと思う。早く事業撤退し、国と補助金の返還の交渉をした方が長い目で見れば得策と思うが、考えを伺う。</p>			
	<p>(4) 重要な新規事業については、事業の計画から実施まで議会や市民にすべてを公開し、英知を集めて取り組むべきだと考える。この事業の場合、予算に絡むものは議会に説明しても、協定や契約など日常的な事業執行はほとんど説明していない。説明しても事後説明ばかりだ。その政治責任は重いと考えるが、考えを伺う。</p>			

順位	6	質問者	谷口 隆明	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
3	東北震災の 「がれき」の処 理について	環境省が、都道府県を通じて全国の自治体に、岩手・宮城両県の「がれき」を全国で分散処理しようと計画している。実際の受け入れの時期や内容は決まっていないが、本市も焼却処分の1日処理可能量3トン、年間受け入れ可能量650トンと回答している。その決定の経過を問う。なぜ議会(市民)に相談しないのか。善意での受け入れ表明だと思うが、責任は国にあり、放射能汚染の拡散の恐れもある受け入れは、現時点では直ちに撤回すべきと思うが、考えを伺う。	市長			
4	台風災害を教 訓に	ハザードマップの作成状況、市内の土砂災害危険箇所の現状と今後の対策、「深層崩壊」の発生の可能性箇所があれば、その周知も必要ではないか。災害を未然に防ぐための今後の基本的な対策をどう進めるのか、考えを伺う。	市長			

順位	7	質問者	小谷 鶴義
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 農業委員選挙 後の新体制と 今後の抱負に ついて	<p>(1) 今回の農業委員会委員一般選挙は、一部の地域では立候補希望者が多く調整に大変と聞いたが、希望者が多いということは関心の強さを感じた。</p> <p>女性の公選による委員も増えたと聞き喜んでいるが、新体制の中での会長の抱負を伺う。</p>		農業委員 会会長
	<p>(2) 最近の農業を取り巻く環境は経済的には非常に厳しい。認定農業者・農業法人化による大型農業の施策しか、農業が助かる方法はないのではないかと。特に稲作農家の現状はそう言われている。農業後継者は法人経営に参加するしか生きる道のないのも、今の農業の現状ではないかと。一方で、地域の耕作放棄地は増加の傾向にある。手間のかかる田んぼは法人も受けない。集落機能も高齢化により低下した。農業は本市の基幹産業であるとの位置づけだが、委員会での協議・意見等について伺う。</p>		
	<p>(3) 農業委員の人数は現状でちょうどいいのか。報酬は今のままでいいのか。議会推薦はしたが、議会推薦委員の委員会報告はない。あわせて見解を伺う。</p>		

順位	8	質問者	垣内 秀孝
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 庄原市地域情報化計画の推進について	<p>平成 18 年 3 月策定の情報化計画の取り組みの現状と、あわせて、平成 19 年の計画の一部見直し後の進捗について伺う。</p> <p>(1)</p> <p>地上デジタルテレビの全世帯で視聴可能 全世帯で高速通信サービスが利用可能 全世帯で音声告知放送受信可能 を目標に掲げ、これらの事業をすべて包含できる手法として光ケーブルでの整備をめざしていた。</p> <p>しかし、事業費、規模等から凍結となった。その後における見直しの庄原市地域情報化計画の 3 施策の現状と課題について伺う。</p> <p>(2) 平成 23 年 3 月議会での一般質問の答弁では、光ケーブルの再調査について、市長の心構え、意欲は前向きとなっている。その後の取り組みの現状について伺う。</p>		市長

順位	8	質問者	垣内 秀孝
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 行政組織の再編について	<p>行政経営は「最少の経費で最大の効果を」が原点である。</p> <p>平成 19 年 4 月自治法改正 助役制 - 副市長 2 人制 (19 年 10 月)</p> <p>(1) 合併後 7 年が経過し、行政運営面からみて副市長 1 人制の考えはないのか伺う。</p> <p>(2) 行政再編では部長制 - 課長制を 他市等との部・課の組織機構の均衡にかんがみ、再編する手法で部長制への再見直し、改革の考えはないのか伺う。</p> <p>(3) 社会環境の変化、行政需要に対応するため、機能的、効率的な組織となるよう見直す心構えを踏まえ、考えを伺う。</p>		市長

順位	9	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1.教職員の超過勤務縮減に向けて	<p>文部科学省、県教育委員会によって進められてきた平成10年(1998年)の是正指導で、学校現場の多忙化が進み、超過勤務実態が続いており、とても4%調整枠で語れる現状ではないと考える。</p> <p>教育条件整備の中で最も大切なのは、教職員であり、健康で意欲的な教育実践ができる労働安全体制の確立をめざし、以下の質問を行う。</p> <p>(1) 本件については、昨年も質問をし、一昨年に比べれば改善されているとの答弁があったが、昨年と比較してどのような実態になっているのか伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的には、早朝入校、20時以降の退校、土曜日・日曜日に学校で仕事をしている実態がどれだけあるのか。また、入校退校記録により、超過分が80時間を超える職員は何人いるのか。 ・毎月の入校退校時刻の集計をして、学校長や教育委員会は実態を把握しているのか。また、どのように分析をし、学校長にはどのような指導をしているのか。 		教育長

順位	9	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 教職員の超過勤務縮減に向けて	<p>(2) 超過勤務縮減へ向けての具体的取り組みは、どのように進められているのか伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な超過勤務数値の把握に向けた取り組みをシステム化しているのか。 ・ 具体的に効果のあった取り組みはどのようなものであり、また、数値として現れている点はあるのか。 ・ 規模の大きな学校では、養護教諭が年度初め健康診断等で多忙化するが、具体的にはどのような手立てを考えているのか。 ・ 教育委員会として、具体的に業務精選をし、各担当者を集めて検討・整理すべき点もあると思うが、考えを伺う。 ・ 具体的数値目標を設定して取り組むべきだと思うが、見解を伺う。 <hr/> <p>(3) 教職員の健康維持と家庭生活の両立について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庄原市次世代育成支援特定事業主後期行動計画の周知状況はどのようになっているのか。 ・ 心がけで終わらないための今後の具体的取り組みについて伺う。 ・ 庄原市次世代育成支援特定事業主後期行動計画における学校現場独自の数値目標について、考えを伺う。 		教育長

順位	9	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1.教職員の超過勤務縮減に向けて	(4) 学校衛生委員会に準じた委員会等の設置開催状況について伺う。また、委員会等において課題とした具体的議論はどのような内容か伺う。		教育長
2.学校における食育推進のための職員配置状況について	<p>平成17年(2005年)6月、食教育基本法が制定され、各学校現場においても「食の大切さ・食を通じて人を育て、四季折々の地元食材を取り組む」などの実践がされている。</p> <p>しかし、学校現場において、食教育を進める栄養教職員の配置は不十分であり、大きな課題があると思うが、考えを伺う。</p> <p>とりわけ、本市は、給食センター化が進んでいる。小学校19校、中学校7校、あわせて26校に栄養教職員は11人しかおらず、そのうち臨時的任用の職員が4人となっており、課題は大きいと思うが、どのように考えているのか伺う。</p>		教育長

順位	10	質問者	田中 五郎
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1.大島造船所ト マト・イチゴ試 験栽培施設を 活用した農業 振興について	<p>当施設の譲り受けを決断されて、2年が経過しようとしているが、次の点について伺う。</p> <p>P：プランは適切だったか。</p> <p>D：何が実行でき、何が実行できなかったのか。</p> <p>C：現状チェック（成果と課題）は、どう整理しているのか。</p> <p>A：今後どうしようとしているのか。</p>		市長
2.地域おこし講 演会（7/30）か ら得たもの	<p>（1）市長自らが講師を選定、依頼をされたとのこと。講演内容から、今年度・来年度に何を具体化しようと考えられたのか伺う。</p> <p>（2）講演内容の過半は、市長、公務員向けの内容であったが、職員からの提案（感想）を集約されたのか伺う。</p>		市長
3.職員力の向上 について	<p>（1）自治大学校の活用実績と、今後の活用計画はあるのか伺う。</p> <p>（2）各種資格取得等助成（応援）制度を設けるべきと思うが、考えを伺う。</p> <p>（3）提案制度の検討状況を伺う。</p> <p>（4）生涯学習課に社会教育主事を置かない理由は、育成計画はあるのか伺う。</p>		市長 教育長

順位	11	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 庄原市職員の再任用制度について	<p>(1) 庄原市職員の再任用に関する条例の適用により再任用した職員は現在、何人か。また、どの部署に配置されているのか伺う。</p> <p>(2) 東城支所内に本年8月、新たに地域振興に関するコーディネーターを市職員退職者に委嘱して新設された。このような要員配置は、市職員の再任用に関する条例の適用によって実施するよう条例対象事項として扱い、行政の透明性を確保すべきと考えるが、見解を伺う。</p>		市長
2. 窓口の改善について	<p>市役所1階の窓口が利用者にとって不便であり、具体的には、課別案内表示を天井からの吊り下げ案内とすること、利用者のプライバシーを尊重するための受付場所を設定することなど、表示等について改善すべきであると考え、見解を伺う。</p>		市長
3. 市職員の休憩時間について	<p>市職員の休憩時間は、労働基準法第34条第3項の規程に準じて、自由使用を保障しているのか。特に、市民の利用度が高い1階各課の現状について伺う。</p>		市長

順位	11	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
4.国際交流について	<p>(1) 中国四川省との交流蓄積で本市にとってどのような利益が確保されたのか。また、今後の中国四川省との交流についての基本方針を伺う。</p> <p>(2) 中国四川省との交流の成果を活用して、企業誘致と雇用拡大を目的に、工業団地内、県有地を利用し、農業技術大学校や県立広島大学、マツダとの有効連携で中国四川省から農業技術研修を受け入れる事業を企画することについての見解を伺う。</p>		市長